

公益財団法人
兵庫県身体障害者福祉協会

理事長

和田 修

新年度を迎えて

新年度を迎えましたが、未だ新型コロナウイルス感染の収束が見えない状況が続いており、一刻も早く収束することを願うばかりです。

このような状況の中、当協会では、今年度、①身体障害者の福祉に関する普及啓発事業、②身体障害者の福祉に関する研修事業、③身体障害者に対する支援事業という3つの事業を柱として事業展開を図っていくこととしています。

①身体障害者の福祉に関する普及啓発事業では、兵庫県障害者福祉大会を11月にたつの市で実施し、障害者福祉に貢献した個人・団体を表彰することとしています。

また、ユニバーサル社会づくりを目指して、障害のある人だけでなく、妊婦や高齢者、小さな子ども連れの方なども含めて、街なかで困っている人がいたら声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」をさらに展開していくため、みんなの声かけ運動応援協定締結団体や幼稚園・小・中・高校への出前講座を継続して実施することとしています。また、今年は、当協会が公益財団法人として発足してから、10周年を迎えるため、記念事業を実施することとしています。

②身体障害者の福祉に関する研修事業では、市町の身体障害者相談員を対象として、相談に応じるための知識・技術や障害者福祉制度等に関する知識の習得をめざして実施している研修会の内容をさらに充実させてまいりたいと考えています。

③身体障害者に対する支援事業では、身体障害者の社会参加活動の促進を図るため、障害者スポーツ振興事業（グランドゴルフ大会・ボウリング大会）や外出支援事業（JRジパング倶楽部への加入や駐車禁止除外指定車標章の交付にかかる支援）をさらに充実させていくこととしています。

また、自然災害による悲劇を繰り返さないために、引き続き、災害時の要援護者支援体制の整備を図っていくとともに、障害者の自助力（防災意識）を向上させ、早期避難の徹底等を促す事業にも鋭意取り組んでまいります。

また、新たに、パソコンやスマホ等のIT機器等を使えない障害者に対して、基本的なITスキルの習得を支援するための障害者デジタルデバインド解消事業にも取り組んでまいります。

いずれにしても、今年度も、身体障害者の福祉の充実・向上に向けて鋭意取り組んでまいりたいと考えていますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



令和3年度の障害者社会参加推進協議会を開催しました

令和4年2月24日（木）、兵庫県立ひょうごこ女性交流館において、令和3年度の社会参加推進協議会が、各構成団体代表者委員16名の参加のもと開催されました。

この協議会は、障害者の当事者団体、支援団体、兵庫県障害福祉関係課が一堂に会し、障害の有無にかかわらず、だれもが家庭や地域で明るく暮らすことができる社会づくりに向けて、障害者自らが様々な社会参加促進施策を実施し、地域における自立生活と社会参加を推進するために、毎年開催しているものです。

和田 修兵庫県障害者社会参加推進センター長の開会挨拶の後、水嶋障害福祉課長、小田ユニバーサル推進課長から令和3年度兵庫県障害福祉施策の概要について、資料に基づきそれぞれ説明がありました。

そのあと各構成団体間の事業等の情報交換が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け延期や中止もありましたが、各団体が細やかな支援体制を取りながら、事業に取り組んでいる報告がありました。

また各団体で直面する様々な問題の解決に向けて、各構成団体の連携、協力を強化する必要があることを確認するとともに、県に障害者福祉への一層の支援・協力を要請しました。



ひょうご障害者福祉計画の 実現に向けた障害者福祉の増進

兵庫県の障害者福祉施策 令和3年度 主要施策予算の概要

I生活基盤作り	69,087,326千円
II教育・社会参加	304,548千円
IIIごと支援	741,009千円
IVくらし支援	2,887,510千円
V安全安心	98,594千円

令和3年度兵庫県障害者福祉施策について
(多くの事業の中から特に兵庫県内の
身体障害者を持つ方に関わりのある新規
施策、拡充施策について抜粋し掲載し
ております。)

I生活基盤作り

【新規】強度行動障害スーパーアドバイザー養成事業(2,885千円)

強度行動障害者の受け入れ施設の
支援力向上及びその受け入れを促進
するため、コンサルティング形式で
の研修の実施によりスーパーバイ
ザーを養成し、自立的に地域の支援
力を向上させる仕組みを構築する。

○3年間をかけて強度行動障害に関

するスーパーバイザーを養成
・1,2年目…基礎知識の習得、反復
実践による支援ノウハウの定着
・3年目…他施設指導による受け皿
拡大を図るため、コンサル施設の
支援現場へ同行し指導スキルを習得
【新規】聴覚障害児支援力向上研修の
実施(2,496千円)
療育機関や学校現場等における
聴覚障害児支援の質向上を図ると
ともに、障害児・家族に対する切れ
目ない支援体制を構築する。

【拡充】医療的ケア児に対する支援
体制の構築事業(21,619千円)
医療的ケア児が地域において必要
な支援を円滑に受けられるよう、
保険、医療、福祉、教育その他関係
機関と連携し、体制を構築すると
ともに、国が定める研修カリキュ
ラムに基づき医療的ケア児等に対
する支援が適切に行える人材を養成
する。また、医療的ケア児数やニー
ズ、資源等については、地域によっ
て偏りがあり市町単独での十分な
支援が困難な場合が想定されること
から、圏域内の資源等の現状を踏ま
えた上で、市町や圏域を超える支援
実施に向けた各市町間の連絡調整等
を担う圏域医療的ケア児等コーデ

ネーターを配置する。

【新規】てんかん地域診療連帯体制
整備事業(3,023千円)

てんかん診療における地域連帯を
強化するため、新たにてんかん支援
拠点病院を指定し、相談窓口の設置
等を行い、適切な治療が受けられる
体制を整備する。

II教育・社会参加

【新規】心のバリアフリー推進事業
(6,367千円)

特別支援学校児童生徒の自立と
社会参加に向け、地域社会の一員と
して生きる力を育むため、交流や
体験活動を実施する。

【新規】パラスポーツ拡大推進プロ
ジェクト(32,717千円)

東京パラリンピックを契機とし
て、一般県民においてもパラスポー
ツが競技として注目されるように
なったことからすべての人が参画
し、ともに競技ができるスポーツの
振興を図る。

【新規】兵庫県車いすロードレース
(仮称)開催事業(1,009千円)

障害者が車いすロードレース及び
ユニバーサルリレーを通じて、体力
の維持増進と社会参加意欲の高揚を
図るとともに、広く県民の参加の
もとに障害者に対する理解促進を
図る。

【新規】ユニバーサルツーリズム推進

事業(12,898千円)

高齢者や障害者等、移動や宿泊
などに困難を伴う方が旅行しやすい
ユニバーサルツーリズムを一層推進
するため、人材育成等による受入
体制による強化やモニターツアー等
による情報発信を展開する。

IIIごと支援

【新規】工賃向上研修事業(991千円)

就労継続支援事業所の工賃向上を
図るため、事業所管理者向けの研修
を実施し、工賃向上の取り組みを
強化する。

IVくらし支援

【新規】ホテル・旅館バリアフリー改修
促進事業(18,000千円)

高齢者や障害者をはじめとする
すべての人が安心して旅行できる
よう、既存のホテル・旅館のバリア
フリー改修を支援する。

○負担割合…県1/4、市町1/4、
事業者1/2

【新規】障害者を対象としたデジタル
デバイス解消事業(5,880千円)

ITスキルの習得支援により、
障害者のデジタルデバイス解消を図
り障害者の日常生活の環境を整え、
社会参加を促進する。

○障害者に対するIT相談窓口の設置
○ITスキル入門講座の開催

(対象人数180人)

第41回 日本身体障害者団体連合会 近畿ブロック福祉大会・ 第23回 日本身体障害者団体連合会 近畿ブロック身体障害者相談員研修会 を開催しました

第41回 日本身体障害者団体連合会 近畿ブロック福祉大会

日 時:令和3年12月3日～9日
(障害者週間限定配信)

主 催:社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会 近畿
ブロック連絡協議会

主 管:公益財団法人
兵庫県身体障害者福祉協会

－ プログラム －

近畿ブロック福祉大会～

- 1 開 会
- 2 黙 祷
- 3 会長挨拶 近畿ブロック連絡協議会
会 長 手嶋 勇一
- 4 主管団体挨拶 兵庫県身体障害者福祉協会
理事長 和田 修
- 5 来賓祝辞 兵庫県知事 齋藤 元彦
日本身体障害者団体連合会
会 長 阿部 一彦
- 6 議 事
 - (1)議長団
 - (2)議 事
 - ①前年度決議事項処理報告
 - ②大会宣言提言
 - ③大会決議提言

同時開催

第23回 近畿ブロック 身体障害者相談員研修会

演 題:障害者への新型コロナウイルス
感染症にかかる対応、感染予防に
ついて

講 師:厚生労働省 障害福祉課
相談支援専門官 藤川 雄一 氏

障害者施策をめぐる状況が大きな転換期にある中、令和3年12月3日～9日の障害者週間に合わせ、ノーマライゼーションの理念である完全参加と平等を促進し、身体障害者福祉の向上を図ることを目的に第41回福祉大会及び第23回相談員研修会が開催されました。

今大会及び研修会は、兵庫県身体障害者福祉協会が主幹となり、YouTube配信による開催となりましたが、来賓に兵庫県知事 齋藤元彦氏、日本身体障害者団体連合会会長 阿部一彦氏をお招きし、また近畿各地から障害当事者560名(うち兵庫県内210名)の視聴を得るなど、盛大に開催することができました。

福祉大会は会長挨拶、主幹団体挨拶、来賓祝辞のあと、前年度決議事項処理報告、大会宣言、大会決議がそれぞれ熱心な議論のもと進められました。

まず、大会宣言では、私たちは、「私たちのことを私たち抜きに決めないで」という障害者権利条約の精神のもと、主体的に諸課題の解決に取り組んだ成果として、我々の活動を支える法的根拠も徐々に整備されてきた。しかしながら様々な差別が残っていることも事実である。このため、今まで以上に積極的に、一丸となって、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に示された共生社会の実現に向けた取り組みを強力に推し進めることが重要である。今後も障害者の福祉の充実と向上のために一致団結して行動することを誓い、万雷の拍手のもと、宣言されました。

次に、大会決議では、高水準の障害者施策の推進、障害者差別解消法の浸透に向けた体制整備と早期施行、手話言語法の制定等のほか、障害者を取り残されない新型コロナウイルス対策など、国や関係機関に対する要望事項17項目が採択され、大会は成功裏に閉会となりました。

引き続き動画では相談員研修会も併せて配信。講師は厚生労働省福祉課相談支援専門官 藤川雄一氏。「障害福祉分野における新型コロナウイルス感染症への対応について」と題し、コロナ禍における障害者福祉サービスや相談員の役割等について講演が行われ、近畿各府県から参加した多くの身体障害者相談員の資質の向上を図ることができました。

今回は滋賀県での開催が予定されています。世界が注目した2020東京パラリンピック大会で掲げられたテーマである「多様性と調和」と「未来への継承」が共生社会を育む契機となり、未来に具現化できるよう、当事者である私たち自身のより一層の連帯とご支援をお願いします。大会はゴールではなく、障害者の社会参加促進のためのスタート地点なのです。



日本身体障害者団体連合会 会長 阿部 一彦



兵庫県知事 齋藤 元彦



兵庫県身体障害者福祉協会 理事長 和田 修



このマークを見かけた方は、席をゆずる等の思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマーク知っていますか



ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からはわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方からの援助や配慮を必要としていることを知らせるマークです。



ヘルプカード

名刺サイズのカードのようになっており、配慮等必要な場面で提示して使います

ヘルプマーク(タグ)

シリコン製のタグでカバンなどにつけて使います

ヘルプマーク・ヘルプカードの入手方法

申請書に必要事項を記入し、下記の申請窓口にお申し込みください。

※ヘルプカードについては、県のホームページから「兵庫県ヘルプカード」の様式をダウンロードし、印刷してご利用いただくことも可能です。※交付は無料ですが、1人1個(枚)までとさせていただきます。

申請窓口

- 【県】 下記お問い合わせ先にて受け付けております。受付時間は月曜日から金曜日(祝日を除く)の9:00から17:00まで。郵送・FAX・メールでもご申請いただけます。
- 【市町】 県内在住の方のみ受付対象です。
※窓口の詳細については、県ユニバーサル推進課へお問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 兵庫県健康福祉部障害福祉局 ユニバーサル推進課ユニバーサル政策班
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 (県庁1号館3階)
電話 078-362-4379 / FAX 078-362-9040 / E-mail universal@pref.hyogo.lg.jp
HP <http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/helpmark.html>

「みんなの声かけ運動」 出前講座のご案内

平成29年度から3カ年かけて、みんなの声かけ運動強化事業として代表的な身体障害(視覚・肢体・聴覚)について、障害種別に応じた障害者への適切な声かけや支援方法の啓発DVDを作製しました。

そのDVDを活用して自治体、企業、各種団体等に障害者への適切な声かけ方法等を学ぶ出前講座を実施してきました。

また障害者への声かけは、子どもの頃に学習した方がより効果が高いと考えられることから令和2年度からは学校向けへの出前講座も行いました。

皆様のあたたかい配慮や困った時に声をかけて下さることは、障害当事者の方が地域の中で安心して生活していくためにもありがたいことです。出前講座を通じて障害のある人の暮らしや困りごとなどを知っていただき、皆様の身近な地域で困っている人に気づいたらお声かけいただけると幸いです。

なお、この出前講座は今年度も引き続き行う予定ですので、実施等に関するお問い合わせは兵身協事務局までご連絡いただきますようしくお願いいたします。

(問合せ先)

兵庫県身体障害者福祉協会事務局

(担当:宮本)

電話 078-24214620

日身連収益事業に ご理解とご協力を!

日身連収益事業所は、兵庫県身体障害者福祉協会と連携し、県内各市町の身体障害者福祉団体のご協力をいただきながら、収益事業(カタログ回覧による物品販売)を行っています。

皆様のご協力で得られた売上収益の一部は、障害者福祉事業の活動資金としてご活用いただくため、県と市町身体障害者団体へ分配しております。

今後とも引き続き「日身連収益事業」へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



日本身体障害者団体連合会収益事業所
(通称:日身連収益事業所) 大阪支所
電話 (0120) 263-323

【計報】

当協会の副理事長 室弘幸様(西宮市身体障害者連合会 会長)が、令和4年4月5日にご逝去されました。

謹んでお知らせ申し上げます。

ご生前の功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

V 安全安心

○みんなの声かけ運動の推進・充実
強化事業（6,346千円）

障害種別に応じた支援方法等に関する実践研修等を実施し、障害者への適切な支援を推進することにより、障害者の安心安全な社会参加を促進する。

・みんなの声かけ運動応援協定締結団体への出前講座
・幼稚園、小中学校、高等学校への出前講座
・地域会議等の開催・啓発

○避難行動要支援者のための個別支援計画の作成等強化（13,958千円）

障害当事者団体内に防災・ピアリーダーを育成し、ワークショップ等を開催するなど自助力の強化を図る。

○緊急時情報通信システム運営管理事業（1,320千円）

災害時等にあらかじめ登録された聴覚障害者や支援者の携帯電話等に緊急情報メールを送信し、緊急災害情報や避難場所、手話通訳者の所在位置等の情報取得方法等について、確実な伝達を行う。



「第36回障害者による書道・写真全国コンテスト」審査結果

全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）が、毎年実施する「書道・写真全国コンテスト」に、今年度も全国から、書道に843点、写真に191点、計1034点の応募があり盛会となりました。

総評として、審査員からは、「強い意志を感じさせる力感溢れる作品が集まった。また、作品すべてに光が

あり、審査には苦渋の選別を強いられた。」との評価でした。

その結果、兵庫県から出展された29点のうち、次の3点の書道作品が金賞を受賞されました。入賞のみならず、おめでとうございます。

来年のコンテストにも、多くの方々のご応募をお待ちしています。



大西久恵さん「花」



橋本直染さん「空」



吉岡好子さん「夢」

自販機の設置場所を
探しています!!

○（公財）兵庫県身体障害者福祉協会では現在、自販機設置業者と協定を結び、自販機の設置を進めております。そのための土地提供（貸与）者を募集しています。

○自販機の設置により得た収益は、場所を提供（貸与）して下さった方と折半し、当協会が得た収益は協会の運営資金として、身体障害者のための福祉事業にに使わせていただいております。

○自販機設置に必要な敷地面積は横幅1m60cm、奥行80cm程度ですので、土地をお持ちの方は兵身協事務局へお申し出ください。業者が、人通りや住宅の多さ、付近の自販機設置状況などを現地確認のうえ設置の可否を判断します。（設置工事は業者が対応します）

○電気代などの経費や、設置作業等は全て業者が負担いたします。

○自販機設置で収益が得られるとともに、身体障害者福祉の向上と増進に寄与することになりますのでご協力をお願いいたします。

《お問い合わせ先》

公益財団法人

兵庫県身体障害者福祉協会

電話：078-242-4620

第17回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展が開催されました

芸術・文化活動を通して、より多くの障害のある人の自己実現と社会参加を進めるとともに、障害の有無に関わらず交流を通して共感と感動の輪を大きく広げることを目的に、令和4年2月18日（金曜日）から20日（日曜日）まで、兵庫県立美術館ギャラリー棟3階にて、第17回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」が開催されました。県内に在住する障害のある方が応募された絵画、書道、写真及び工芸作品等を展示し、知事賞ほか各賞の表彰が行われました。

今年は、絵画、書道、写真、工芸その他を合わせて302点の応募がありました。

兵庫県身体障害者福祉協会理事長賞には、大槻小百合さんの絵画「こはるびよりに」が選ばれました。この作品は、高齢の女性が描かれており、小春日和を思わす、とても明るい色彩の中



理事長賞受賞作品「こはるびよりに」

でほほ笑む、優しさあふれる作品です。

来年度も同じ会場で開催する予定です。もっと多くの方に出品していただき、会場に負けない伸びやかで大きな作品を期待し、来年も皆さんからの出品を心よりお待ちしております。

出品者様はもとより、公募展の開催にご尽力くださいました関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。



障害者のための弁護士・福祉専門職無料法律相談

（毎週火・木曜日13：00～16：00）

※祝日・年末年始を除きます。木曜日は兵庫県弁護士会の自主事業として実施しています。



相談



差別や虐待、悪徳商法、財産管理等々。法律に関わる問題について困っていることはありませんか？皆様のお悩みに、弁護士と福祉専門職（社会福祉士・精神保健福祉士等）が三者同時通話システムを使って無料に対応します。

相談対象者：①障害者（本人） ②家族や支援機関の職員 ③行政機関の職員
④障害者雇用の企業担当者等



電話：078-362-0074

FAX：078-362-0084

※法律的な観点からの助言を行うものであり、差別事案等の解決まで保証するものではありません。
※ファクスにつきましては、回答文書作成等のために時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。

※この法律相談は高齢者向け相談と併せて実施しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課

TEL：078-362-9104

FAX：078-362-3911